大切なお子様の安全のために正しくお使いください。

取扱説明書

目次

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

ides

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。

⚠警告　**身体に関する危険**
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注 意　**財物や商品本体に関する危険**
守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

【ご使用されるお客様へお願い】
本商品は公園等、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかる等思わぬ怪我の原因となることもありますので十分ご注意ください。店舗等におけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上ご使用されるようお願い致します。

- ●ＳＧマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。
- ●この商品はＳＧ基準により安定性､走行性､耐荷重､耐衝撃に合格した商品です。
- ●ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので､安心してお乗りください。
- ●対象年齢： 1.5 歳～5 歳未満　　身長目安： ８０cm～１００cm まで
  乗車体重：20kg まで　※カゴの制限重量（８kg）は含みません。

- ●安心ガードは､SG マーク制度対象外です。
- ●PLI 制度は SG マーク制度対象外の製品及び部品の欠陥によって事故があった場合に補償する当社固有の制度です。

警告

- ●初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。
- ●お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
- ●ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてからご使用ください。裸足で使用すると隙間等で思わぬ怪我をする恐れがあります。
- ●坂道での使用は､避けてください。
- ●交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
- ●２人乗りなどの危ない乗り方は絶対にしないでください。
- ●車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
- ●斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
- ●三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
- ●お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
- ●幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
- ●小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。
- ●業務用・団体用で使用しないでください。
- ●三輪車以外の目的では使用しないでください。
- ●コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
- ●コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
- ●幼児､子供にコントロールバーを操作させないでください。
- ●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い､幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
- ●コントロールバーを付けた状態で使用するときは､必ずステップを使用し､ロック＆フリー機能をフリーの状態にしてください。
- ●お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
- ●コントロールバーに物を掛けたりすると倒れる恐れがあるので､物をかけないでください。
- ●カゴの取り外しは保護者が行ってください。手をはさむ恐れがあります。十分気を付けて取り外しを行ってください。
- ●カゴを後ろから押して遊ばないでください。カゴが変形する原因になります。
- ●カゴにペット（犬・猫等）や生き物を入れないでください。
- ●カゴにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください（制限重量８kg以下）。破損による怪我の恐れがあり大変危険です。

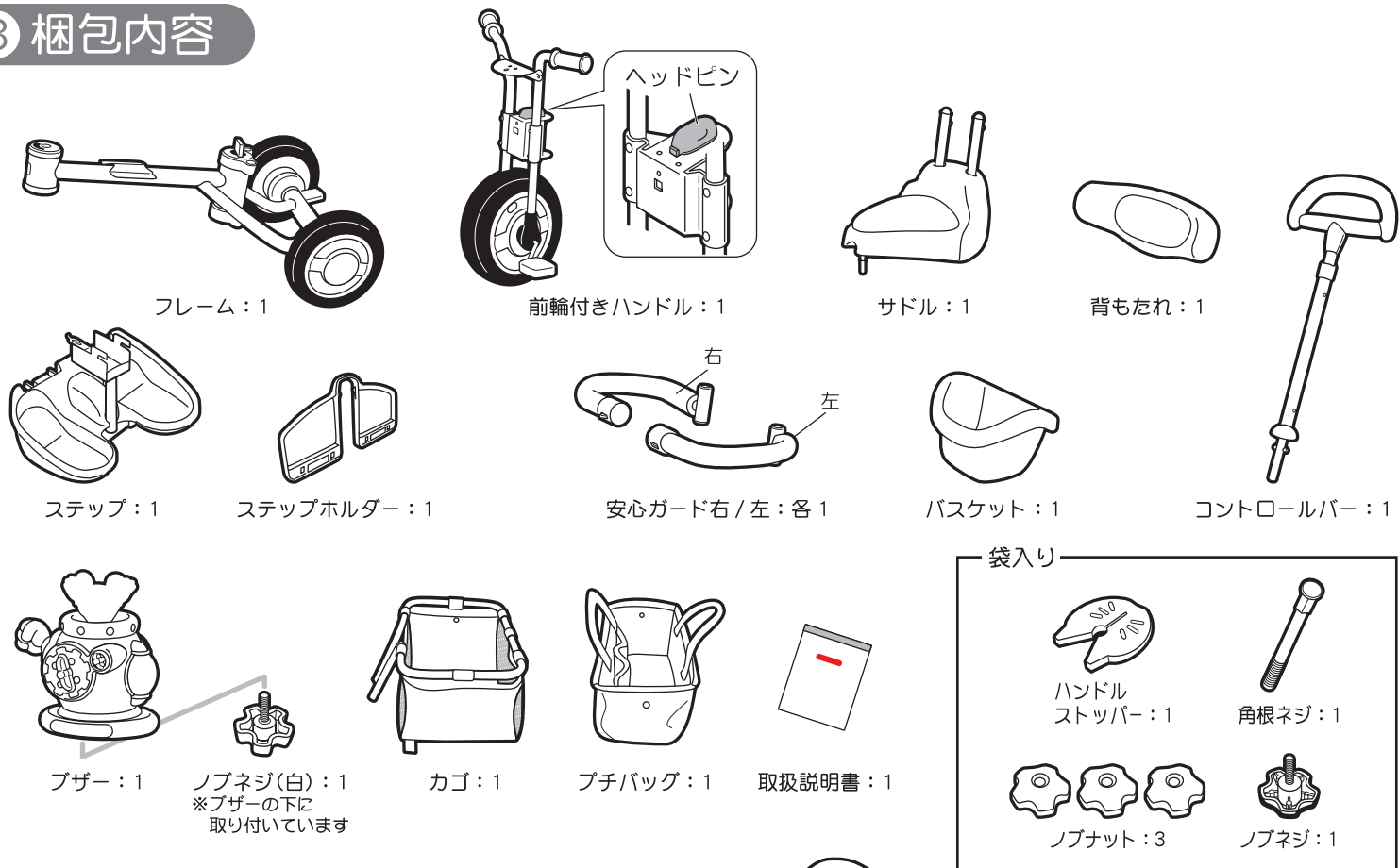
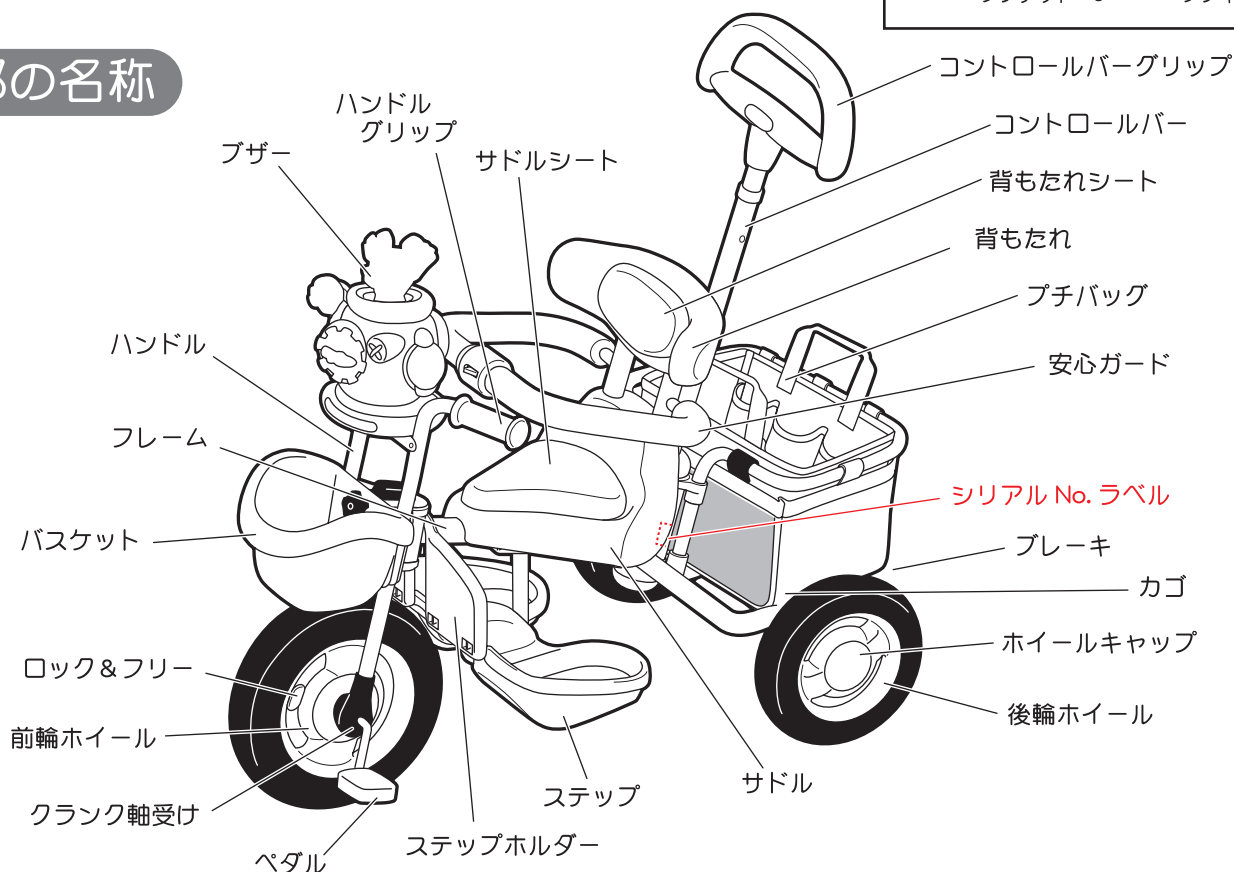
《乾電池を誤使用すると発熱､破損､液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。》

- ●充電池（ニカドなど）およびニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は使用しないでください。
- ●古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使わないでください。
- ●長時間使用しないときは必ずスイッチを切り、電池を外してください。
- ●＋－（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
- ●電池をショートさせたり、充電、分解、加熱したり、火の中に入れないでください。
- ●万一、電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い医師に相談してください。皮膚や、服に着いたときは水で洗ってください。

注 意

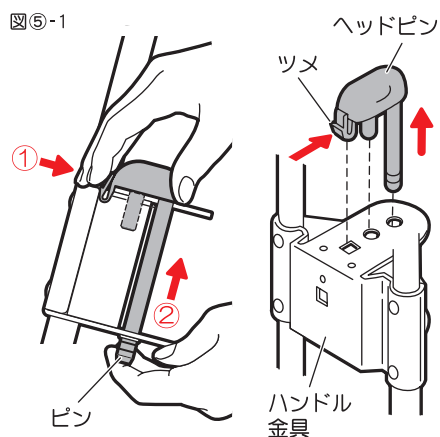
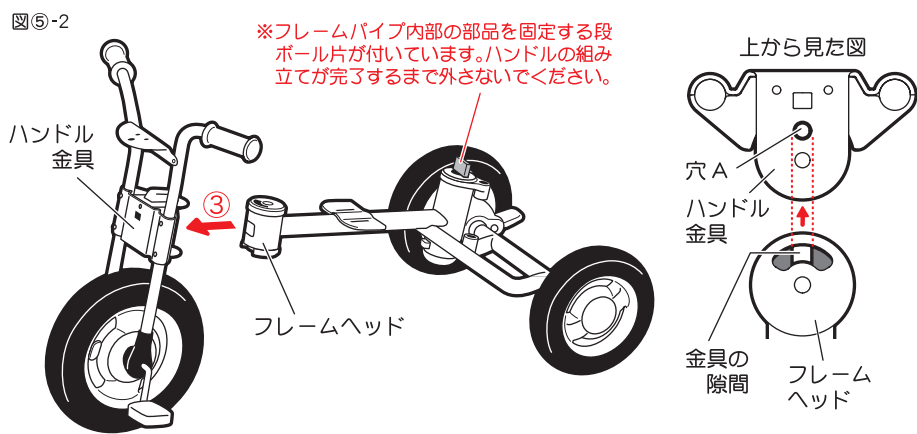
- ●使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
- ●長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
- ●屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
- ●火気のある所､高温の場所には近づけないでください。
- ●砂場や水たまりで使用しないでください。

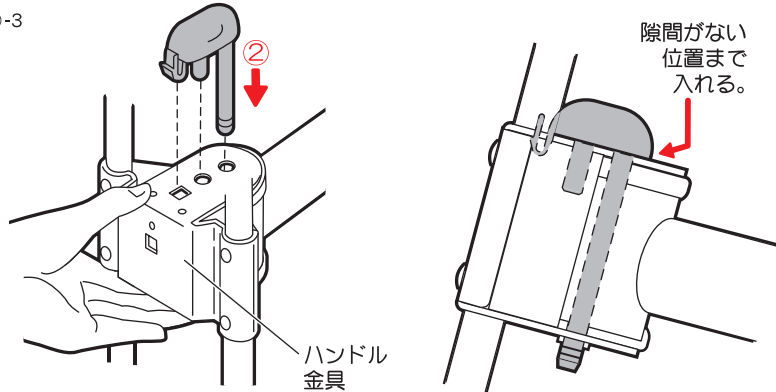
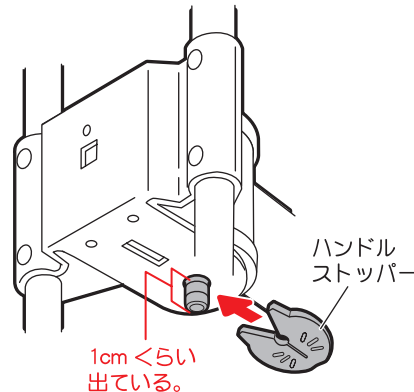
※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」､「注意」が表記してありますので､そちらもお読みください。

③ 梱包内容

④ 各部の名称

【材質】

フレーム：スチール
ハンドル：スチール
コントロールバー：スチール
安心ガード：スチール
コントロールバーグリップ：ポリプロピレン(PP)
バスケット：ポリプロピレン(PP)
前 / 後輪ホイール：ポリプロピレン(PP)
サドル：ポリプロピレン(PP)
背もたれ：ポリプロピレン(PP)
ステップ：ポリプロピレン(PP)
サドルシート：塩化ビニール(PVC)
背もたれシート：塩化ビニール(PVC)
前 / 後輪タイヤ：EVA
ハンドルグリップ：熱可塑性エラストマー(TPE)
安心ガードクッション：EVA
ブザー：ABS/ ポリプロピレン (PP)
ブザー人形：塩化ビニール(PVC)
カゴ：ポリエステル
プチバッグ：ポリエステル

5 組み立て方法

●ハンドルの取り付け

- ハンドルを取り付ける前に、ハンドル金具に付いているヘッドピンを取り外します。
- ヘッドピンのツメを矢印①の方向に押しながら、ハンドル金具の下部分から出ているピンの先端を矢印②の方向に押し上げ、引き抜いてください。

- ハンドル金具にフレームヘッドを矢印③の方向に入れます。
- フレームヘッドの穴から見える金具の隙間とハンドル金具の 穴 A が合うように入れてください。金具の隙間と穴 A がズレているとヘッドピンが根元まで入りません。

- ハンドル金具の穴に矢印②の方向でヘッドピンを入れます。その際ハンドル金具の下部分を支えながら差し込みます。下部分を支えないで組み立てようとすると、ハンドル金具が曲がる恐れがあります。
- ハンドル金具の上面とヘッドピンに隙間がない位置まで、ヘッドピンが入っているか確認してください。

- ハンドル金具下からヘッドピンの先端が 1 cm くらい出ていることを確認してください。
- ピン先端の溝にハンドルストッパーを取り付けます。

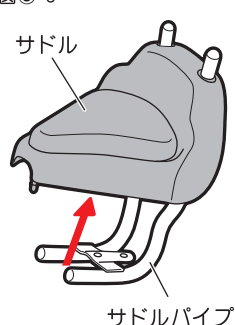
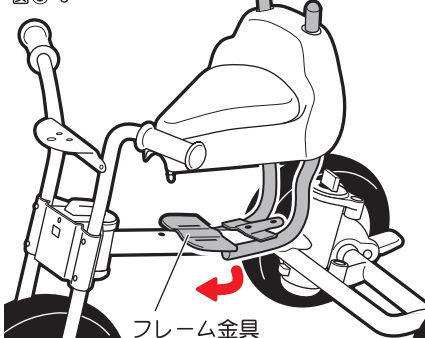
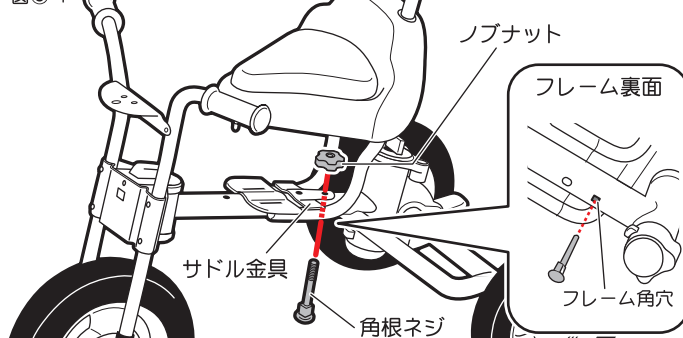
注 意

●ハンドル金具の下からヘッドピンの先端が 1cm くらい出ていない場合は正常な組み立てではありませんのでご注意ください。
●ヘッドピンを差し込まない状態で無理な力を加えないでください。ハンドル金具が変形して、ヘッドピンが固定できなくなります。

●サドルパイプの取り付け

図⑤-7

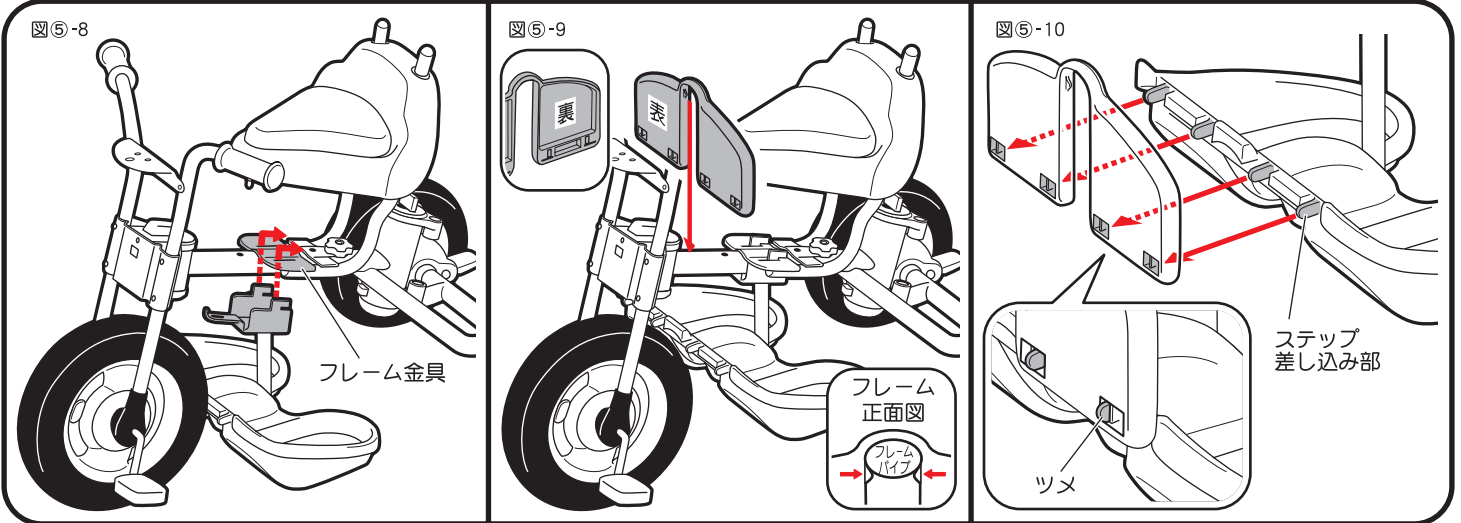
ノブナット

フレーム裏面

サドル金具

角根ネジ

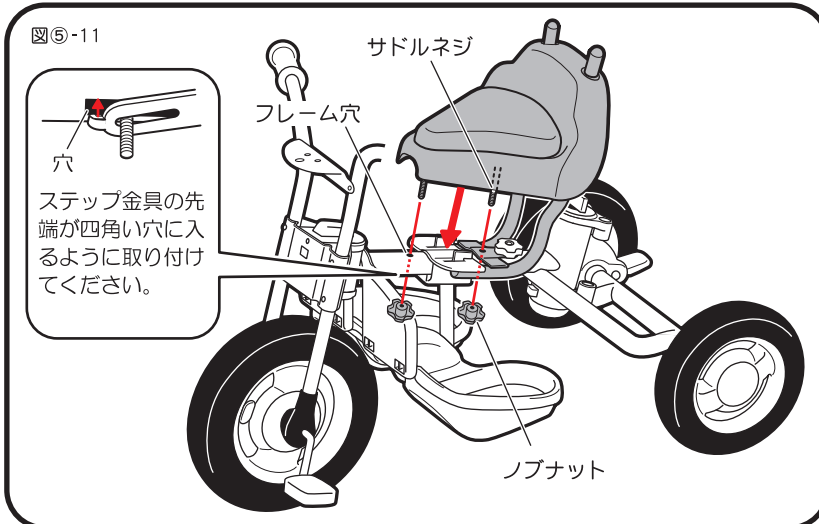
フレーム角穴

- サドルをサドルパイプから引き上げて、図のようにしてください。
- サドルパイプの先端がフレーム金具の下になるように置いてください。
- フレーム角穴から角根ネジを入れ、ネジ先端がサドル金具の穴から出たらノブナットで強く締め付けてください。

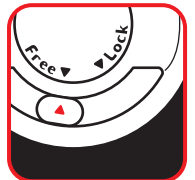
●ステップの取り付け

・ステップの上部をフレーム金具の穴に入れ、後ろへずらして引っかけてください。

・ステップホルダーをフレームパイプに差し込みます。ステップホルダーの表面が進行方向に向くように取り付けてください。

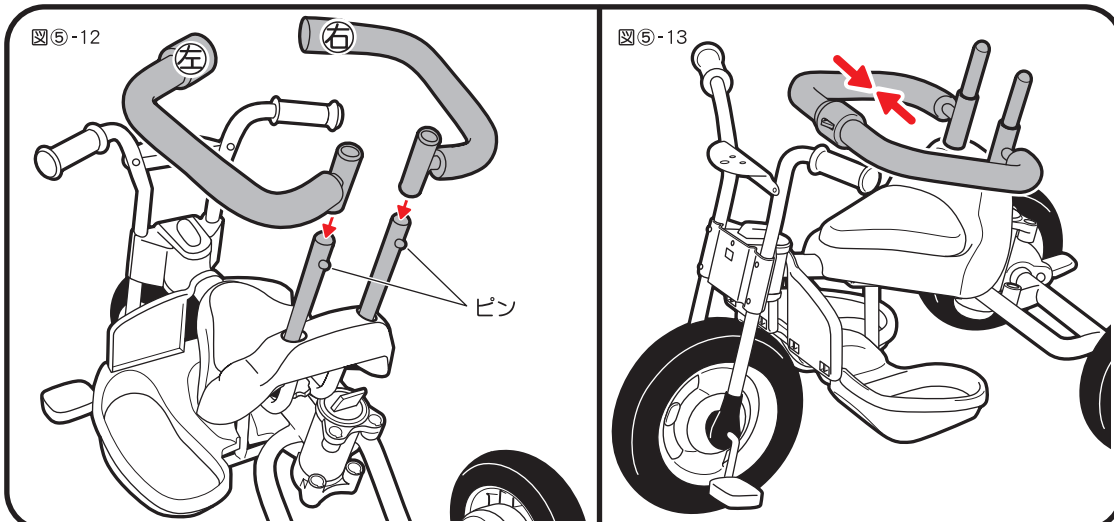
・ステップ差し込み部をステップホルダーの差し込み口に取り付けます。ステップホルダーの表面からステップ差し込み部のツメがしっかり出ていることを確認してください。

●サドルの固定

・サドルを押し下げ、サドルネジをフレーム穴に貫通させてください。
・フレーム下からネジ先端が出たらノブナットで固定してください。

●ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。

※ロック＆フリー機能については９ページ【⑫ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください。

注 意

●ステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
●ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
●ステップ、サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

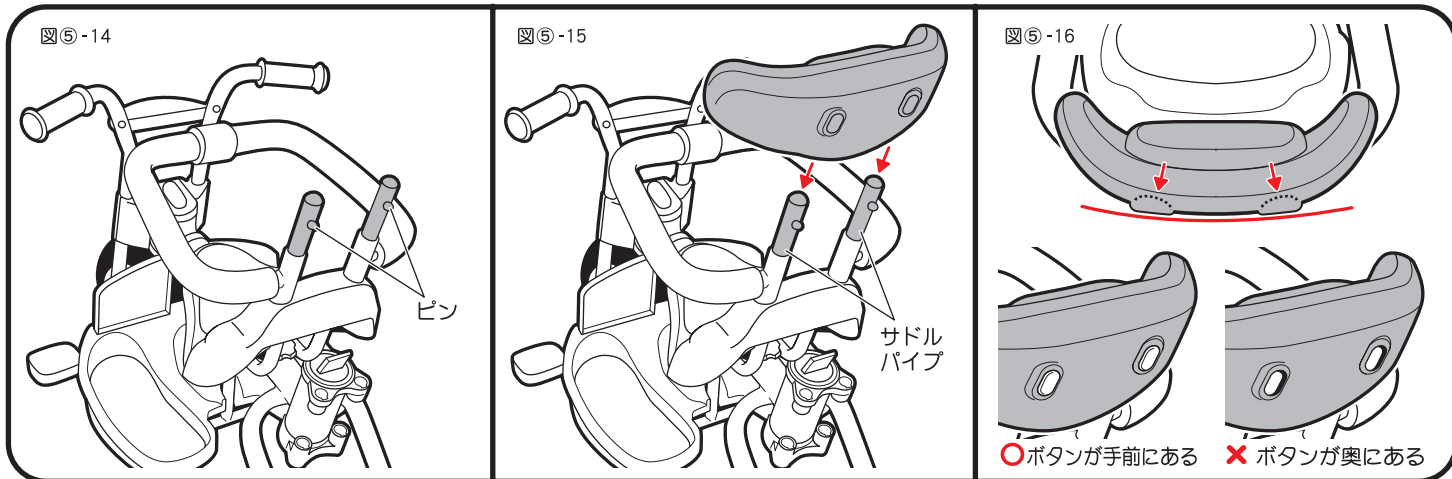
●安心ガードの取り付け

・サドルパイプのピンを押しながら安心ガードを差し込んでください。
・安心ガードの左右を確認してください。

・安心ガードを閉じてください。

注 意

●安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
●安心ガードを使用する際は手や指を挟まないように注意してください。
●安心ガードの開閉は保護者が行ってください。

●背もたれの取り付け

図⑤-14

・サドルパイプのピンが出ていることを確認してください。

図⑤-15

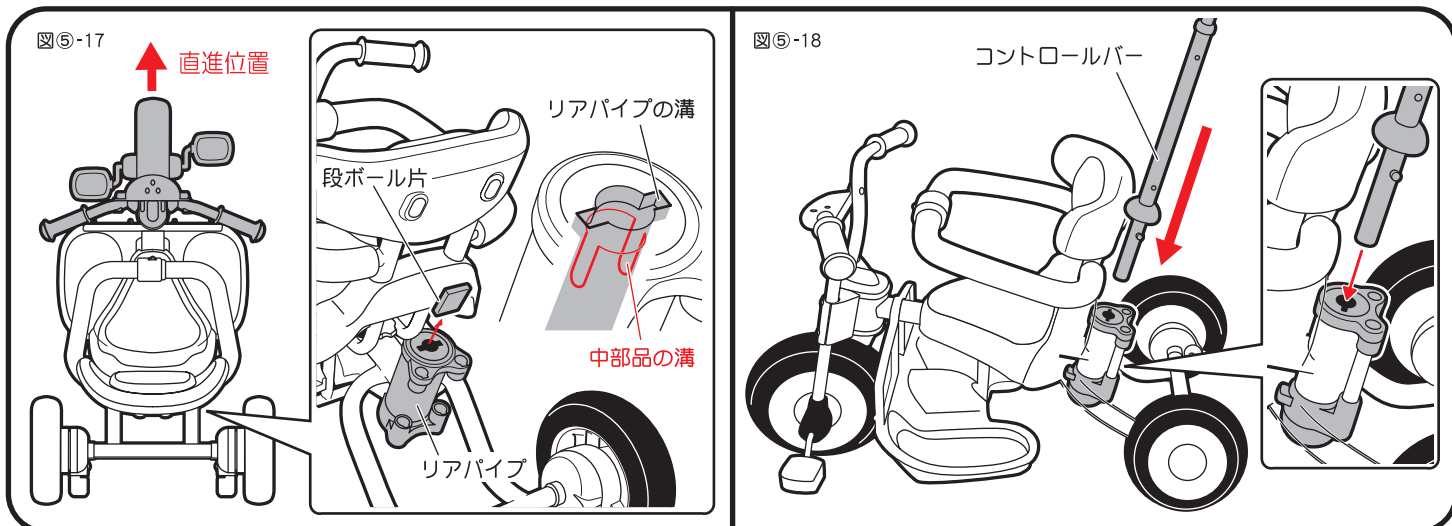
・背もたれをサドルパイプに強く押し込み、取り付けてください。

図⑤-16

〇ボタンが手前にある　✕ボタンが奥にある

・後ろのボタンが背もたれの面と同じ位置まで出ていることを確認したあと、背もたれを持って本体を持ち上げても外れないことを確認してください。

●コントロールバーの取り付け

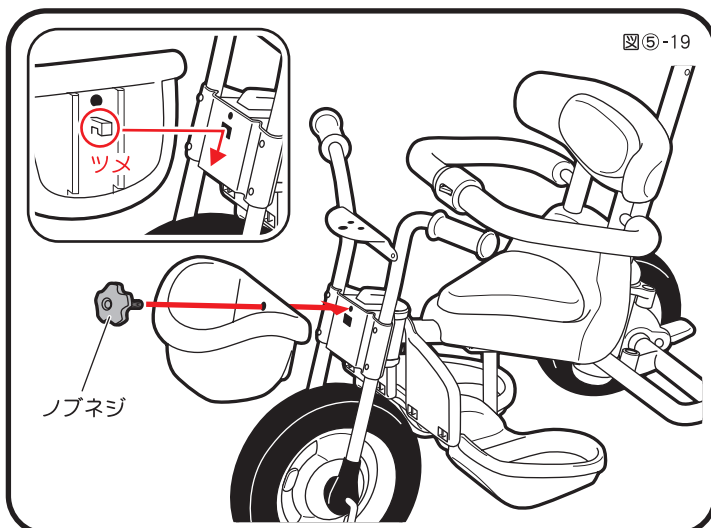
図⑤-17

・フレームパイプ内部の部品を固定する段ボール片を引き抜き、ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。溝がズレているとコントロールバーが入りませんのでご注意ください（ハンドルと中部品は連動して動きますので、中部品の溝がズレているときはハンドルを動かしてください）。

図⑤-18

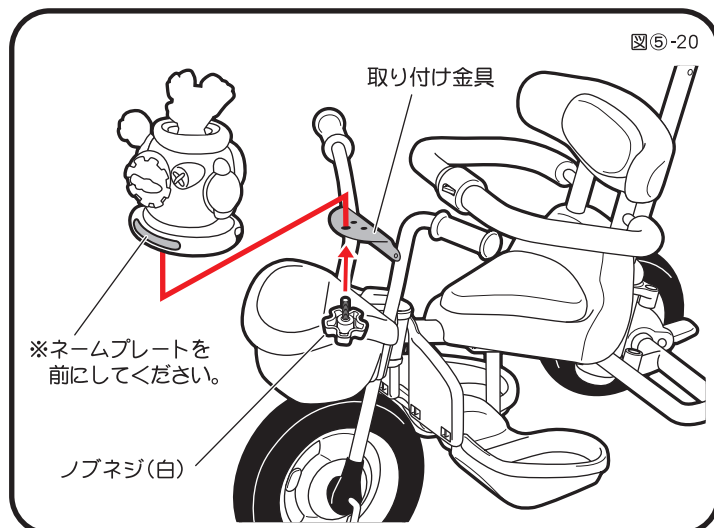
コントロールバー

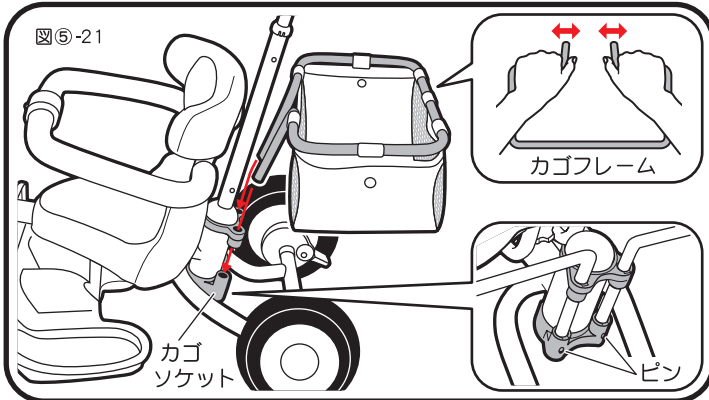
・コントロールバーをリアパイプにしっかり差し込んでください（ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーはリアパイプに挿入できません）。奥まで差し込むとコントロールバーがリアパイプにロックされます。差し込んだあと、コントロールバーを上方向に引っぱり、抜けないことを確認してください。

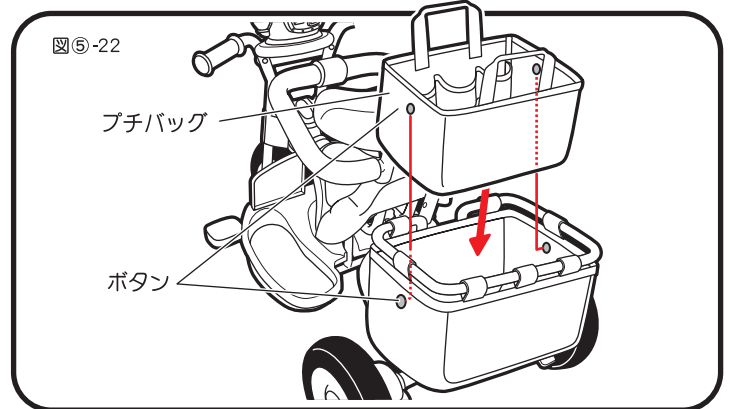
●バスケットの取り付け

図⑤-19

・バスケット裏のツメを本体の穴に入れ、引っ掛けます。
・ノブネジでバスケットを固定してください。

●ブザーの取り付け

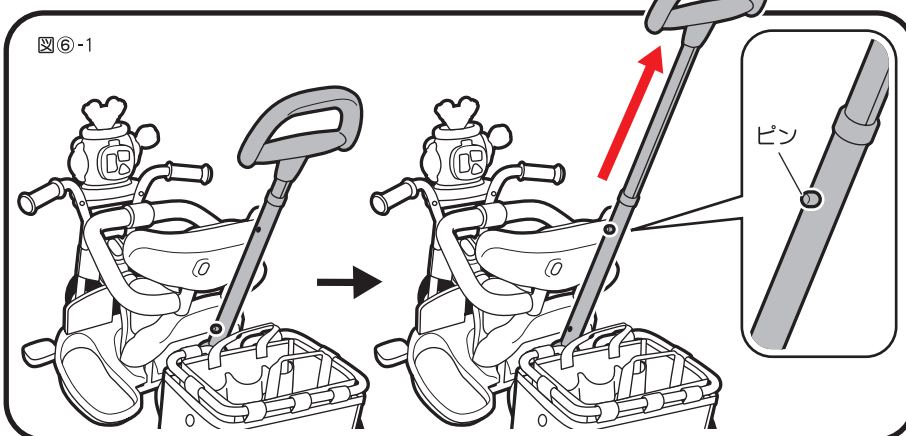
図⑤-20

・ブザー本体の底面に付いているノブネジ（白）を取り外します。
・取り付け金具にブザーを取り付けノブネジ（白）で締め付け、固定してください（ご使用前に絶縁紙を引き抜いてください）。

●カゴの取り付け

・カゴフレームの先端を左右2カ所のカゴソケットの幅に合わせて差し込んでください。カゴフレーム先端がカゴソケットの下に入り、ピンでロックがされるまで入れてください。
・カゴフレームが確実にロックされていることを確認してください。

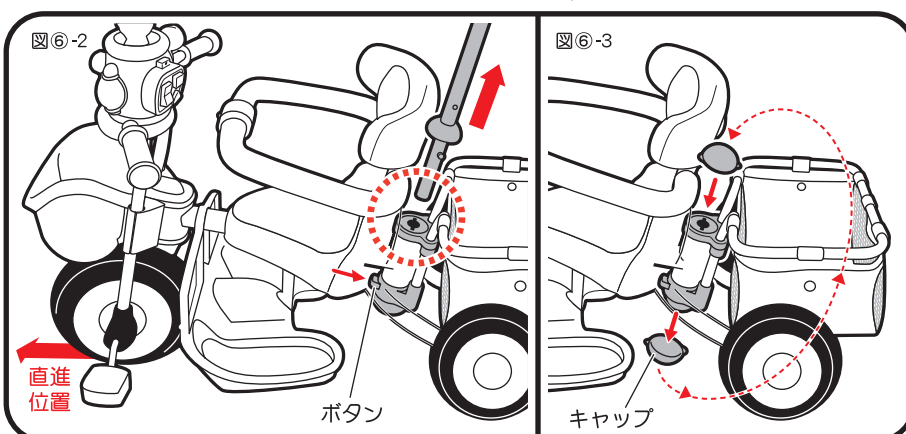
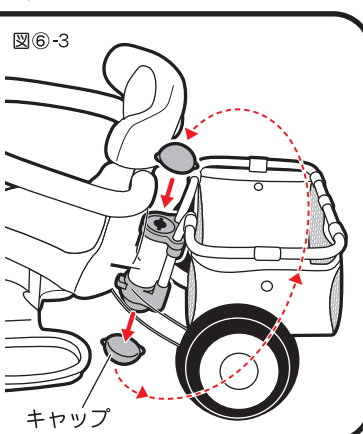
●プチバッグの取り付け

・プチバッグをカゴの中に入れ左右のボタンをとめて固定してください（プチバッグは前後どちらにも取り付けることができます）。

注意
●カゴの取り付けは保護者が行ってください。指や手をはさむ恐れがあります。
●カゴやカゴフレームにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください（制限重量8kg以下）。
破損の恐れがあり大変危険です。
●カゴに鋭利なものを入れないでください。布部分が破れる恐れがあります。

⑥ コントロールバーの調節/取り外し方法

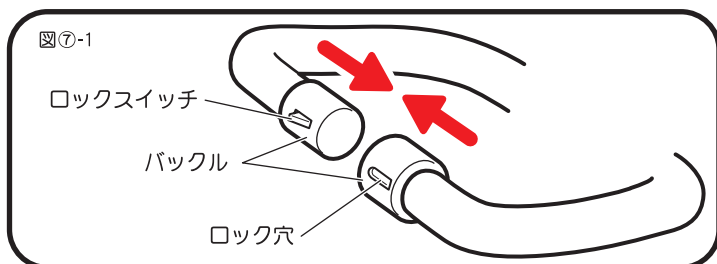
●コントロールバーの高さ調節方法

・コントロールバーの横穴から出ているピンを押しながらコントロールバーの上部を上下させてください。
・上の穴からピンが出るまでスライドさせてください。

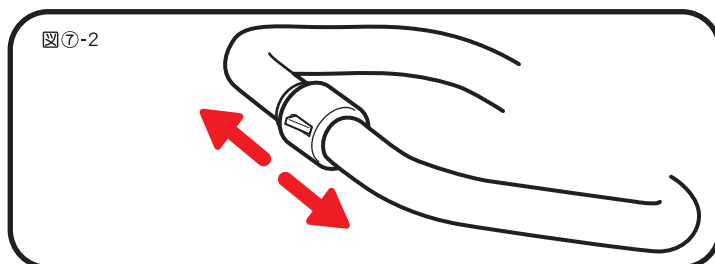
注意
●ピンが穴から出ていることを確認して使用してください。ピンが出ていないと使用中にコントロールバーの上部が抜けてしまう可能性があります。
●コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態（9ページ図⑫-2参照）にしてください。
●コントロールバーのグリップ部分に荷物などを乗せたり、掛けたりしないでください。転倒の恐れがあります。
●段差のある場所でのご使用は避けてください。
また、壁などにぶつけないでください。

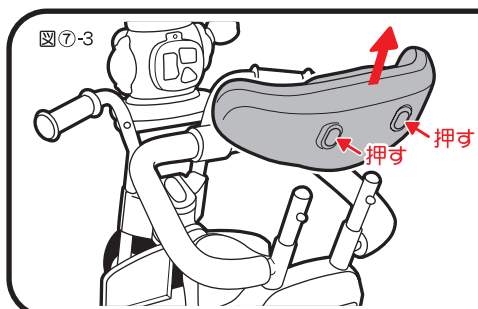
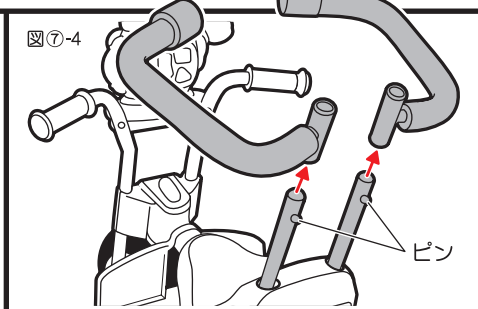
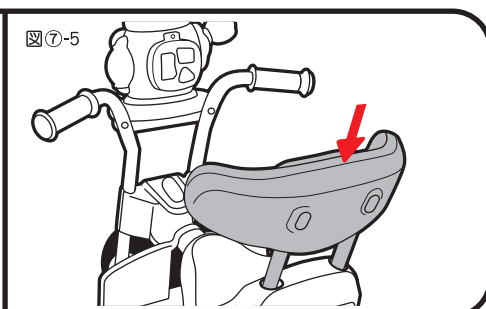
●コントロールバーの取り外し方法

・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、ボタンを押しながらコントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。
・リアパイプ下側からキャップを外しリアパイプの上に取り付けてください。

⚠警告
●コントロールバーを外した後はキャップを必ずリアパイプ上側に取り付けてからご使用ください。キャップを取り付けずに使用するとケガをする恐れがあります。

注意
●キャップの取り外し、取り付けは保護者が行ってください。
●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬ怪我の原因になります。また小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

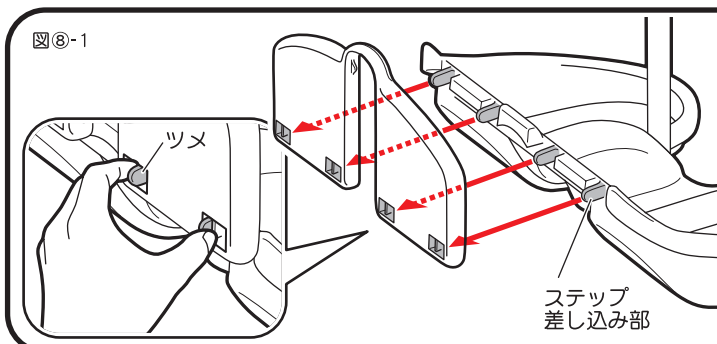
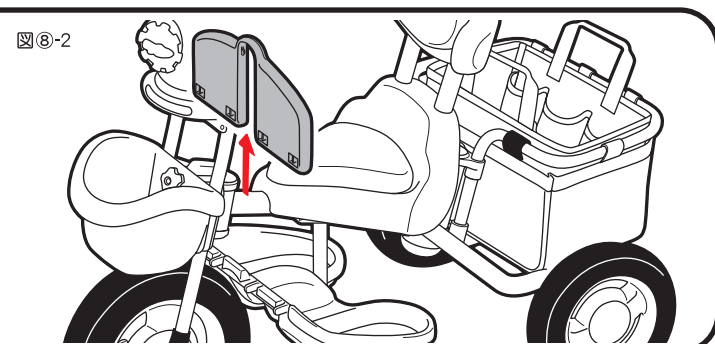
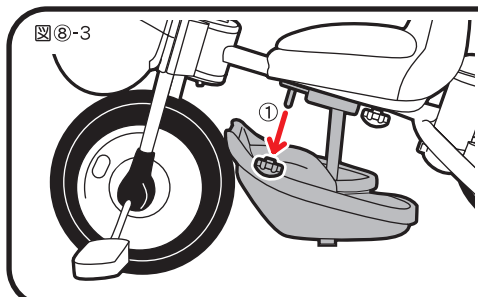
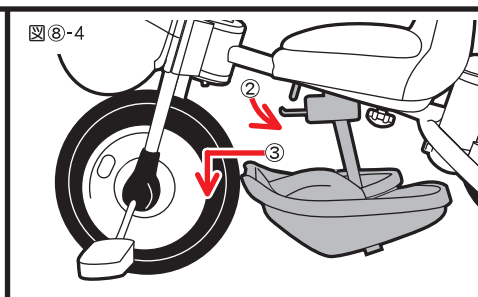
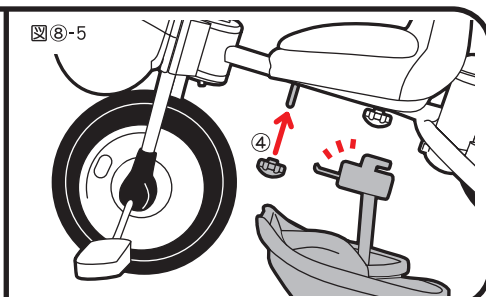
⑦安心ガードの開閉/取り外し方法

●安心ガードを閉める

・安心ガードの左右が三輪車の中心で重なるように合わせてください。バックルが重なるとロックスイッチがロック穴から出てロックがかかります。

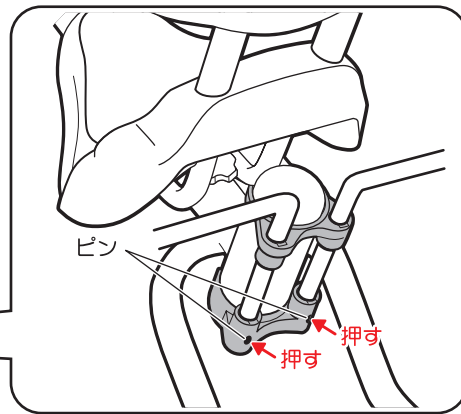
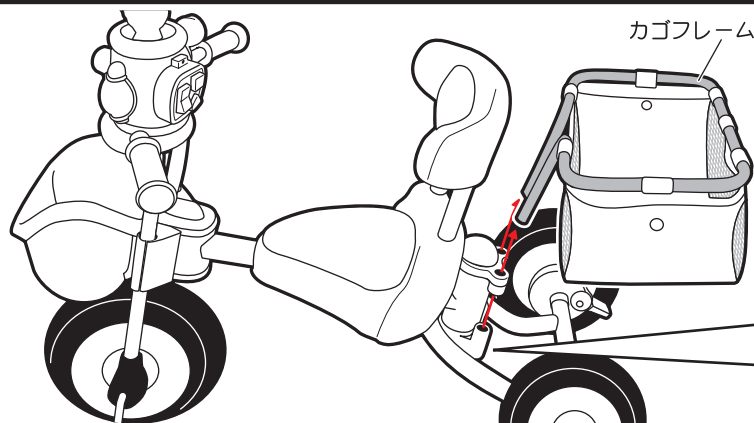
●安心ガードを開ける

・ロックスイッチを押しながらバックルを左右に開いてください。ロックが解除され、安心ガードを開くことができます。

●安心ガードの取り外し

・ボタンを２つ同時に押しながら背もたれを上に引き抜いてください。

・安心ガードを開き、ピンを押しながら左右の安心ガードを取り外してください。

・背もたれを再度取り付けてください（5ページ【背もたれの取り付け】参照）。

注 意
●背もたれを外したまま使用しないでください。
●子供をのせたまま背もたれや安心ガード、ハンドルを持って車体を持ち上げないでください。

⑧ステップの取り外し方法

・ツメをつまみながらステップ差し込み部からステップホルダーを抜いてください。

・ステップホルダーをフレームパイプから取り外してください。

①サドルネジからノブナットを外してください。

②ステップを傾けます。
③前方へスライドさせ取り外してください。

④ノブナットを再度取り付けてください。

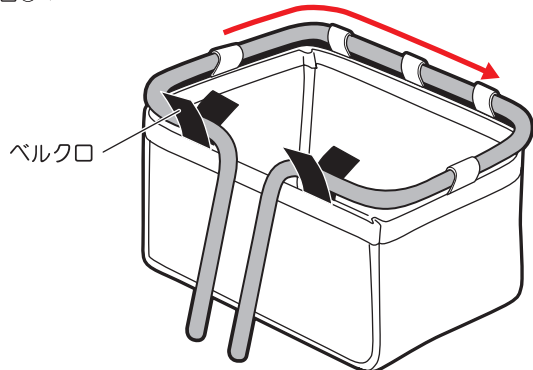
注 意
●ステップの取り外しは保護者が行ってください。
●ノブナットはしっかりと固定してください。
●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

⑨ カゴの取り外し方法

・カゴソケットの下に出ているピンを押しながらカゴフレームを抜いてください。
ピンは普段は押されないように奥に入っていますので、先の細い物で押してください。

⚠警告 【重要】 カゴソケットにお子様が指をはさむ恐れがありますので、お手入れの場合以外はカゴを三輪車に付けた状態で使用してください。

注意
●取り外した部品はお子様の手の届かないところに置いてください。
●カゴの取り外しは保護者が行ってください。

⑩ カゴ布部分の取り外し/取り付け方法

●カゴ布部分の取り外し

・ベルクロを外します。
・カゴ布部分をカゴフレームから取り外します。

●カゴ布部分の取り付け

・カゴフレームをカゴ布のフレーム通し部分に矢印の方向へ入れます(カゴフレームの向きに注意してください)。
・ベルクロを止めます。

注意
●カゴ布部分の取り外しは保護者が行ってください。
●カゴ布部分とプチバッグは洗うことができます。洗濯の際は右の項目を参照してください。
●カゴ布部分を洗濯後、取り付けるときは【カゴ布部分取り付け方法】を参照してください。
●プチバッグを洗濯後、取り付けるときは6ページ【プチバッグの取り付け】を参照してください。
●カゴに鋭利なものを入れないでください。カゴ布部分が破れる恐れがあります。
●このカゴとプチバッグは「ポップンカーゴ三輪車」専用です。他の用途には使用しないでください。
●このカゴの品質保証は本体保証書に則します。お客様の不注意による破損や洗濯による色落ちなどは保証の対象外となります。

●型くずれを防ぐため、やさしく手洗いしてください。染料が色落ちする場合がありますので他のものと一緒に洗わないでください。また長時間の付け置きもしないでください。

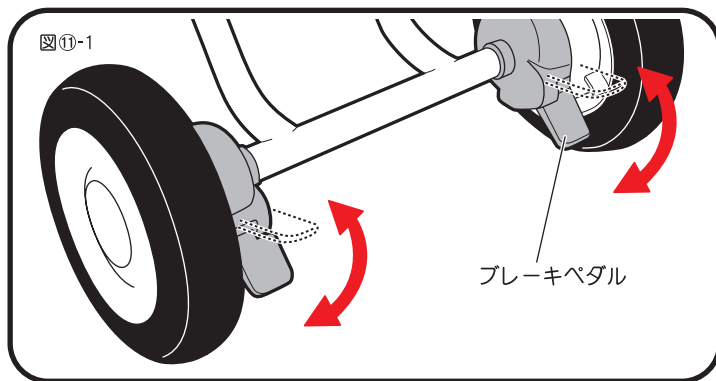
●洗った後はしぼらないでください。タオルなどに押し付けて水気を取り除いてください。

●水気を取り除いた後、型を整えて日陰で平干しし、十分に乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。

●漂白剤や入浴剤などの入った水は使用しないでください。

●アイロンがけはしないでください。

●ドライクリーニングはしないでください。

⑪ ブレーキの取り扱い

・ブレーキをかけたいときは左右のブレーキペダルを下げてください。
・ブレーキを解除したいときは左右のブレーキペダルを上げてください。

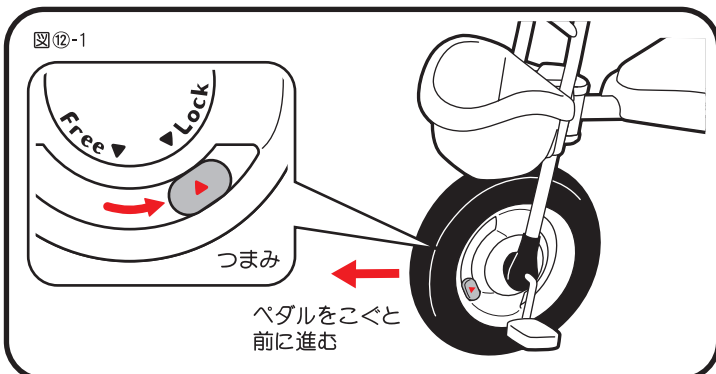
⚠警告

●三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。
ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
●お子様を三輪車に乗せたときはブレーキを過信しないでください。
ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。
●ブレーキを操作する際は必ず左右のブレーキペダルを同じように操作してください。
左右がそろっていないと正常に動作しません。

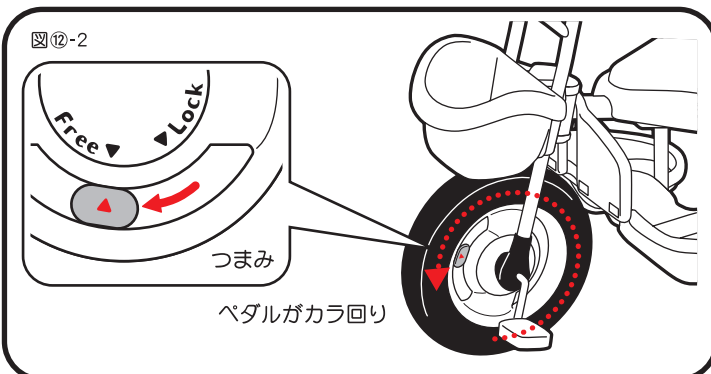
注 意

●ブレーキペダルの上げ下げは保護者が行ってください。
●三輪車を動かす前に必ずブレーキが解除されていることを確認してください。
ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

⑫ ロック＆フリーの取り扱い

●ロック状態

・お子様がペダルをこいで使用する場合は『つまみ』の▲印をLOCK(ロック)に合わせてください。

〔つまみをロックにすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。〕

●フリー状態

・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE(フリー)に合わせてください。

〔つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。〕

フリー機能の説明

フリーにしても前輪とペダルが一緒に回転する場合がありますが、ペダルを手でおさえた状態で前輪が回転すれば異常ではありません。フリー機能はペダルがステップなどに当たっても三輪車が不意に止まってしまったり、お子様がペダルとステップの間に万が一足をはさんでも怪我をしないようにするための機能です。

必ず確認してください。

ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。
ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。

⚠警告

●ロックの状態でコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
●お子様が三輪車に乗った状態でのロック＆フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
●坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

注 意

●ロック＆フリーの切り替えは、保護者が行ってください。
●ご使用になる前は、必ずロック状態、フリー状態の確認を行ってください。
●水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があり、故障の原因になります。

●ブザーの遊び方

・電源を入れてから５分間何も操作をしないと、一時的に電源が切れます。どれかボタンを押すと再度電源が入ります。
しばらく使用しない場合は ON/OFF スイッチを OFF にして電源を切ってください。

●電池の交換

・ユニット取り付けネジをプラスドライバーでゆるめ、電池ユニットを引き出してください
（ユニット取り付けネジは、電池ユニットから外れません）。
・電池ユニットの左右から単三乾電池２本を取り出し交換してください。

注 意

●ブザー本体が車体に確実に固定されていることを確かめてください。
●ブザー本体及びスイッチ・ボタン類は水に濡らさないでください。故障の原因になります。
●ブザー本体に砂状のものをかけたり、人形のまわりのすき間に小石等の異物を入れないでください。
故障の原因になります。
●ブザーの屋外での保管は外気候の影響等で故障の原因になることがあります。ブザーは取り外して室内での保管を推奨しております。
●ブザーの取り付け、取り外しは保護者が行ってください。
●充電池（ニカドなど）およびニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は使用しないでください。
●電池が減った状態で使用していると、音が鳴りにくくなったり、途中で途切れることがあります。早めに電池を交換してください。
●寿命の尽きた電池をブザーに入れたままにしないでください。液もれ等により故障の原因となります。
●ユニット取り付けネジは電池ユニットから外れない構造になっていますが、万が一分離した場合はネジの紛失や誤飲にご注意ください。